

お施主様向け取扱説明書

マルチリモコン
リモコンシャッター (S2Q)

《お願い》

YKK AP 商品を長く安全にお使いいただくために、
ご使用前によくお読みいただき、大切に保管ください。

このたびは YKK AP 商品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、商品の取り扱いに関する必要事項を説明しています。
商品を安全に長くお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。
商品によっては、本書に掲載されていない場合がありますので、
当社ホームページの情報も併せてご利用ください。

■YKK AP 株式会社 ホームページ

<http://www.ykkap.co.jp>

■お客様 サポート

YKK APへのお問い合わせや商品の使い方、お手入れなどを紹介しています。
<http://www.ykkap.co.jp/support/>

■安全・安心、快適のポイント

日常生活の中で注意していただきたいポイントを紹介しています。
<http://www.ykkap.co.jp/support/safety/>

■使い方&お手入れガイド

YKK AP商品の取り扱い情報を幅広く紹介しています。
<http://www.ykkap.co.jp/support/care/>

■WEB カタログ

当社の商品カタログ、ユーザーマニュアル（ガイドブック）を紹介しています。
<http://webcatalog.ykkap.co.jp>

商品に貼られたラベルから、商品情報をご覧ください



リモコンシャッター
H2GHSR-16511-C-RS2SE
K:20180119
806 SXR60

使い方・
お手入れ



ラベルイメージ




※スマートフォンやタブレット端末等の通信料はお客様のご負担となります。
※機種によっては、正常に表示されない場合があります。

本書の読み方

本書内の表示

本書内では、下記の表示を用いて、人身事故や損害を未然に防ぐために守っていただきたい内容を示しています。内容を十分ご理解のうえ、表示内容を守って商品をご使用ください。

■危険／警告／注意／お願い



表示	意味
 危険	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いと想定される。
 警告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される。
 注意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うかまたは物的損害（※3）が生じることが想定される。
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報。

（※1）重傷とは、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで、身体機能に欠損および／または後遺障害が生じる傷害、または前記に至らないまでも30日以上の加療を要する傷害をいう。

（※2）軽傷とは重傷に至らない傷害をいう。

（※3）物的損害とは、家屋・家財およびペット等にかかわる拡大損害をいう。製品自体の破損は含まない。物的損害の程度は、(財)日本科学技術連盟が開発したリスクマップ(R-Map)の「危害の程度」に準じる。

■記号

記号	意味
 [強制]	「必ず行っていただきたいこと」を示します。
 [禁止]	「行ってはいけないこと」を示します。

もくじ

本書の読み方	P.1
本書内の表示	P.1
もくじ	P.2
安全にお使いいただくために	P.3
安全上のご注意	P.3
知っていただきたい現象	P.10
ご使用になる前に	P.12
リモコンの種類	P.12
各部の名称	P.13
壁付ホルダーの取り付け	P.15
マルチリモコンの使い方	P.17
電池の入れ方	P.17
時刻設定・シャッター登録	P.19
グループ設定（作成・編集・削除）	P.26
タイマー設定	P.28
※マイストップ機能の設定と使い方	P.31
困った時には	P.35
保守点検	P.36
保守点検項目	P.36

※マイストップ機能とは、リモコンのワンタッチ操作でシャッターをお好みの開閉位置へ移動できる機能のことです。

安全にお使いいただくために

安全上のご注意

シャッターについての注意事項

⚠ 警告



[強制]

電動シャッターとリモコンは、920MHz 帯を使用する特定小電力無線設備です。医療用機器をご使用の方は、電波による影響について、念のため医療用機器メーカーにご相談ください。

⚠ 注意



[強制]

窓やシャッターの表面や金属部分は、直射日光で熱くなることがあります。やけどなどしないようご注意ください。



[禁止]

シャッターボックスに乗ったり、はしごをかけたりしないでください。無理な力をかけると、シャッターの破損や転落など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[強制]

強風や大雨の時は、シャッターだけでなく内側の窓も閉め、必ずロックしてください。シャッターの破損などにより、室内に風や雨が入り、家屋や家財の損害につながるおそれがあります。

お願い

シャッターを無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。シャッターの破損や故障につながるおそれがあります。

開閉時の注意事項

⚠ 注意



[強制]

シャッターを開閉する際は、周囲に人や物がないことを確認してください。
閉め出しや、手や足、物がはさまるなど、思わぬ事故やけが、物の破損につながるおそれがあります。



[禁止]

シャッターを開閉する際は、開閉位置に手や足を出したり、下枠に物を置いたりしないでください。
手や足、物がはさまるなど、思わぬ事故やけが、物の破損につながるおそれがあります。



[禁止]

シャッターの開閉中に下を通らないでください。
体をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

外出の際、内側の窓を施錠していない状態でHEMS 機器で開操作をしないでください。外から侵入されるおそれがあります。

開閉時の注意事項（つづき）

お願い

ガイドレールや下枠に物が置かれていないことを確認してから開閉してください。
物がはさまると、シャッターの破損や故障の原因となります。

リモコンシャッター（GR 含む）の場合、停電などで一旦電源が切れると、シャッターの全開・全閉の停止位置設定がリセットされます。
シャッターの全開・全閉の停止位置設定は、通常のシャッター開閉操作を行うことで、自動設定されます。電源復帰後、必ず「開（ひらく）」操作から行き、全開にしてください。
「閉（とじる）」操作から行うとシャッターの破損や故障の原因となります。

シャッターの端部を持って開閉しないでください。
端部を持って開閉すると、シャッターが片寄り、破損や故障の原因となります。

シャッターボックス内部には、駆動装置や電子ユニットが組み込まれています。
清掃の際、駆動装置や電子ユニットに水がかからないようご注意ください。
水がかかると破損や故障の原因となります。

シャッターを短時間で繰り返し開閉しないでください。モーターの保護装置が作動し、一定時間動作が停止します。（故障ではありません）
20～30分程度間を置くと開閉操作が可能になります。

シャッターを閉めた時は、防犯性を高めるため、手動錠（リモコンシャッター（GR 含む）の場合は（オプション）や内側の窓も必ずロックしてください。

シャッターを開ける際は、手動錠が解錠されていることを確認してから行ってください。
手動錠を施錠した状態で開けると破損や故障の原因となります。

シャッターが凍結した場合、解けるまで開閉しないでください。
無理に開閉すると、シャッターの破損や故障の原因となります。

オプションリモコンでの一斉操作やタイマー操作、HEMS 機器での操作など、シャッターが見えない位置から操作した場合は、正しく作動したことを確認してください。

シンプルリモコン（標準）は、各シャッターの周辺に設置してください。
オプションリモコンでの一斉操作やタイマー操作、HEMS 機器での操作など、シャッターが見えない位置から操作した際、シャッターの周辺にいる人が意図しない操作に対して、すぐにシンプルリモコン（標準）で操作するためです。

リモコンについての注意事項

⚠ 注意



[禁止]

リモコンを、分解、改造しないでください。
リモコンの破損や誤作動により、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
リモコンを改造すると法律により罰せられることがあります。
※リモコンは、総務省の技術基準適合品です。(㊞マーク)

お願い

リモコンを落としたり、濡らしたりしないでください。
リモコンの破損や故障の原因となります。

標準リモコンは、下記の場所では設置および使用しないでください。
絶縁不良による誤作動や、故障の原因となります。

- 屋外や屋内の湿気が多い場所（浴室など）
- 直射日光のあたる場所や、熱源に近い場所（暖房器具のそばなど）
- 腐食性ガスおよび可燃性ガスが発生する場所
- 薬品を常時使用する場所

非常開放時の注意事項

注意



[強制]

非常開放操作は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
手や足をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[強制]

非常開放引手の操作時に、指をはさんだり、爪を損傷したりしないよう
ご注意ください。けがをするおそれがあります。

電池についての注意事項

⚠ 危険



[強制]

電池から漏れた液が目や皮膚に付着した場合は、すぐに水道水でよく水洗いして、医師の治療を受けてください。失明や化学やけどなど、重大な事故やけがにつながるおそれがあります。

⚠ 警告



[強制]

電池は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。小さなお子様か、電池を飲み込み、化学やけどや粘膜損傷など、重大な事故やけがにつながるおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



[禁止]

電池の (+) と (-) を逆にして使用しないでください。

電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄の異なる電池を混ぜて使用しないでください。特性の違いにより、電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

電池を火の中に入れて、加熱、分解したりしないでください。

絶縁物などが損傷し、電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[強制]

長期間使用しない場合や、使い切った電池は直ぐに機器から取り出してください。そのまま放置すると、電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

電池についての注意事項（つづき）

⚠ 注意



[禁止]

電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。
電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

電池を水などで濡らさないでください。
電池が発熱するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

電池が入った機器を高温の場所で使用、放置しないでください。
電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[強制]

電池を廃棄する場合は、お住まいの自治体の条例に従って廃棄してください。

お願い

電池の種類は、商品仕様をご確認ください。(充電式電池は使用できません。)

知っていただきたい現象

日常生活の中で『何かおかしいな…』と感じることがある現象も、商品の不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。

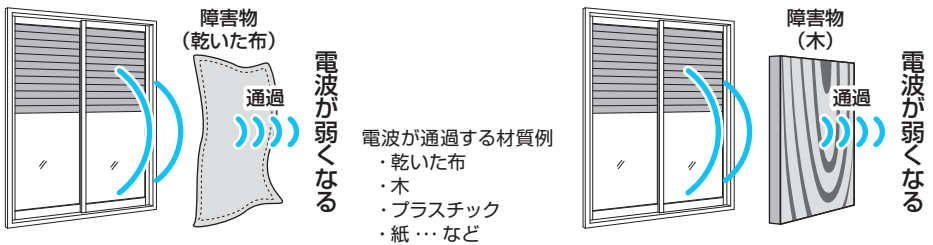
ここでは発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明しています。

電波の特性について

リモコンとシャッターの間に障害物が多いと、リモコンを操作してもシャッターが動かない場合があります。

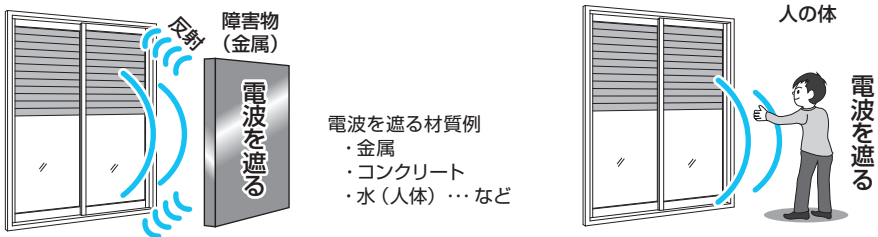
● 電波は、障害物（乾いた布や木など）を通り抜ける

電波は、障害物の材質によっては通り抜けることができます。ただし、障害物を通り抜ける度に弱くなる特徴があります。



● 電波は、障害物（金属やコンクリート、人の体など）によって遮られる

電波は、障害物の材質によっては遮られることがあります。

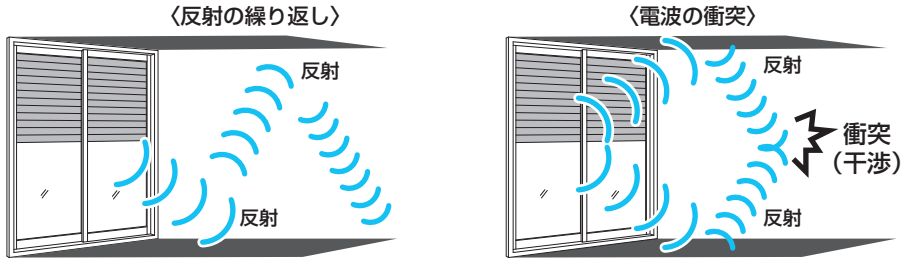


※ 特に金属は電波を反射しやすく、電波を遮断します。

※ 電波を遮る材質・素材として「水」もあります。60%以上が水分と言われる人の体も、電波を遮る障壁となります。

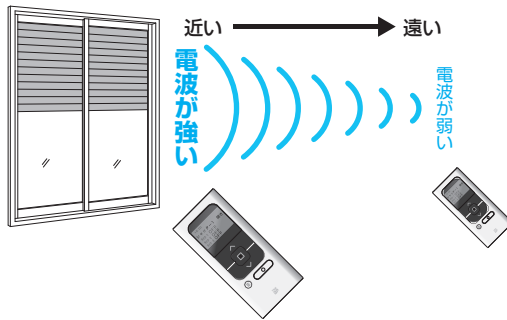
● 電波は、建物などに反射する

電波は、建物の壁や天井、地面などの障害物（特に金属）にあたると反射します。障害物や電波の周波数によって反射の仕方は変化し、複数方向へ乱反射することもあります。ただし、電波は反射を繰り返すことでだんだん弱くなります。また、反射した電波同士が衝突し、弱くなることもあります。



● 電波は遠くなるほど弱くなる

電波は、基本的に届くまでの距離が遠くなるほど弱くなります。



シャッター一斉操作の作動開始のタイミングについて

一斉操作を行った際、シャッターが作動し始めるタイミングにズレが生じることがあります。シャッターとリモコンが1台ずつ通信を行っている為で、異常ではありません。

ご使用になる前に

ご使用前に確認してください


- 必ず、P.3「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

リモコンの種類

シャッターにはシンプルリモコン（標準）が1台ずつ付属しています。

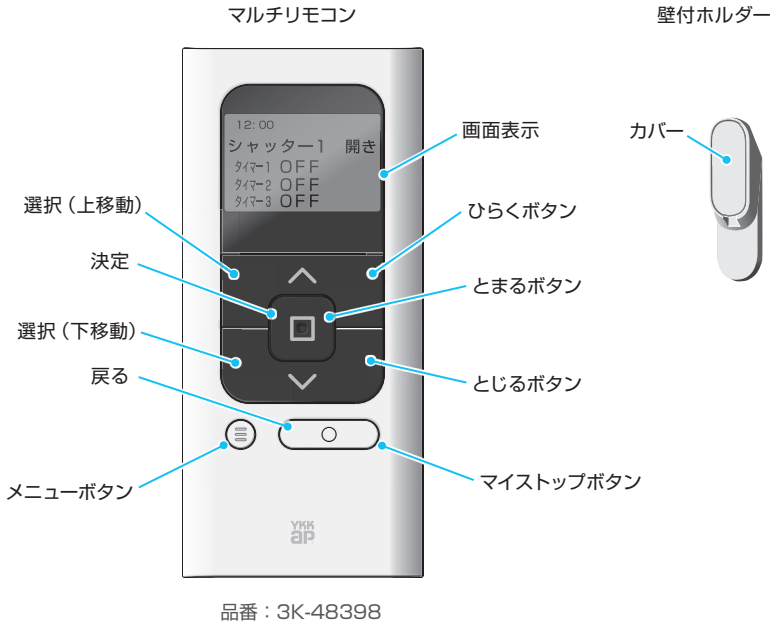
リモコンで複数のシャッターを操作したい場合は、必ずシンプルリモコン（オプション）、またはマルチリモコンをご準備ください。

- ・シンプルリモコン（オプション）・マルチリモコンを購入する場合は、当社営業窓口までご依頼ください。
- ・オプションリモコンをご購入いただいた場合は、ご自身でオプションリモコンの登録作業を行ってください。（登録内容は下記表に記載の該当ページにてご確認ください。）
- ・シンプルリモコン（標準）を紛失・故障した場合は、別途登録作業（有償）が必要になります。当社営業窓口までご依頼ください。

	マルチリモコン (オプション)
	
1つのリモコンに登録できるシャッターの台数	最大 12 台まで
個別操作	○
グループ操作	○ (グループ操作にはグループの登録が必要となります)
タイマー設定	○
マイストップ機能	○
記載ページ	→ P.17 「マルチリモコンの使い方」

各部の名称

●マルチリモコン (オプション)



使用電池：	単4形アルカリ乾電池(2個) ※アルカリ乾電池以外は使用しないでください。
電池寿命：	約1年 ※1日4回操作の場合 ※ 取り付け済みの電池は本機の動作確認で使用された電池です。 通常の電池寿命より短い場合があります。
電波法区分：	特定小電力無線
使用周波数：	927.4MHz
電波到達距離：	屋内見通し距離約20m (使用場所の環境により短くなる場合があります)
使用可能温度範囲：	0℃～40℃
保存温度：	-10℃～60℃

- 画面には個別操作またはグループ操作をするシャッターの開閉状態が表示されます。
 - マルチリモコンは、マルチリモコンの操作時またはシャッターの動作完了時に、状態表示を更新します。
- 他のリモコンで操作されたときは画面を更新しないため、実際のシャッターの状態と一致しない場合があります。

●マルチリモコンの画面表示パターン

マルチリモコンの画面表示パターンにより、正常に機能しているか判断が可能です。
異常時の画面が表示された場合は、対処方法を確認してください。

通知内容		考えられる原因	対処方法	画面表示
正常		リモコン動作でシャッターが正常に動作した場合。		シャッター1 正常に動作しました
異常	通信不良 (登録外リモコン 操作含む)	リモコンの信号がシャッターに届かなかった場合。	シャッターが動作していない場合、再度リモコン操作をしてください。	シャッター1との 通信が失敗しました
	障害物検知	シャッターが障害物検知で停止した場合。	シャッターの状態を確認してください。	シャッター1が 障害物検知機能で 途中停止しました
	サーマル停止 (過熱保護停止)	シャッターを連続で操作したため、モータ内部の温度が上昇し、保護装置が働いた場合。	20～30分間放置してから再度操作してください。	シャッター1の モータが高温です 時間を置いて再度 操作してください
	モーター異常	シャッターがエラーを起こした場合。	リモコン操作でシャッターが動くか確認してください。	シャッター1で 異常が 発生しています

壁付ホルダーの取り付け

ホルダーを室内の壁に取り付けることにより、壁スイッチとしてお使いいただけます。

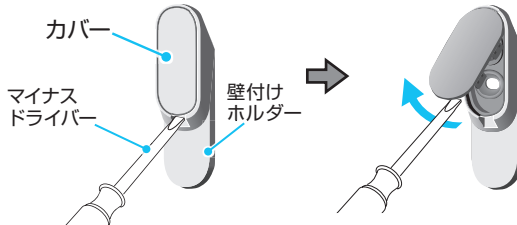
■ホルダーの取り付け方

1 シャッターの動作を確認する

取り付ける場所から、リモコンでシャッターが作動することを確認します。

2 壁付けホルダーのカバーをはずす

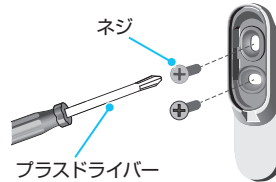
壁付けホルダーにマイナスドライバーを差し込み、カバーをはずします。



3 室内の壁に固定する

ネジで取り付けする場合

室内の壁にネジで固定します。

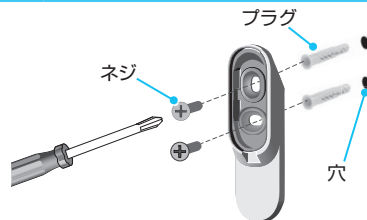


お願い

- ネジの締めつけ過ぎにご注意ください。締めつけ過ぎると部品の破損につながるおそれがあります。

下地がない場合

ネジの取り付け位置に直径 6mm の穴を開け、プラグを挿入した後、ネジで固定します。



4 カバーを取り付ける

カバーを挿し込み、押し込みます。



■リモコンの取り付け方

1 ホルダーに取り付ける

ホルダーにリモコンの背面部を挿し込み、取り付けます。



■リモコンの取りはずし方

1 ホルダーから取りはずす

リモコンを手前に引きます。



マルチリモコンの使い方

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

電池の入れ方

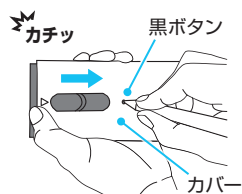
右の画面が表示された場合は、電池（単4アルカリ乾電池）を交換してください。

電池がなくなります
交換してください

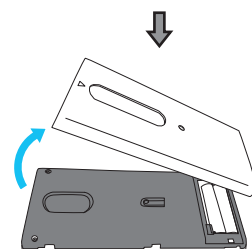
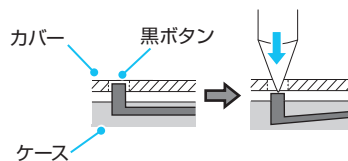
■電池の入れ方

1 カバーをはずす

リモコン背面下部の黒ボタンを、先端の細いペン先などで押しながら、カバーをカチッと音がするまでスライド（約5mm）します。



カバーに指をかけて引き上げ取りはずします。



2 電池を入れる

新しい電池を入れてください。

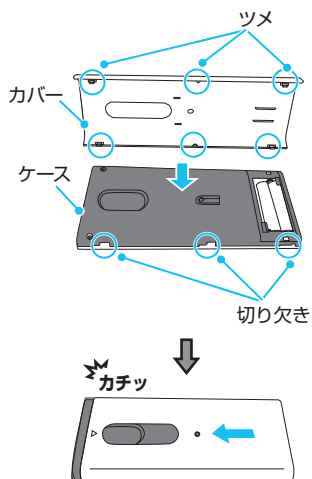
※電池の向きに注意してください。



3 カバーを取り付ける

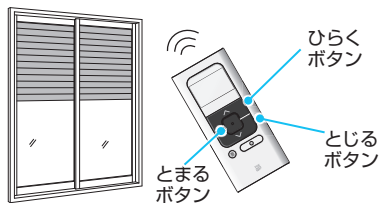
カバーのツメをケースの切り欠き部にあわせ、カチッと音がするまでスライドします。

※電池交換をすると時刻がリセットされます。交換後は、必ず時刻の設定を行ってください。



4 動作確認をする

リモコンの「∧」（ひらくボタン）、「□」（とまるボタン）、「∨」（とじるボタン）を押してシャッターが開閉することを確認してください。





時刻設定・シャッター登録

●用意するもの



シンプルリモコン
(標準)



マルチリモコン
(オプション)

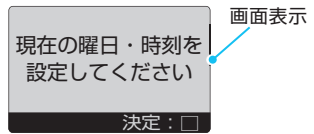
・巻末に登録内容記録シートを掲載していますので、必要に応じてご活用ください。

1 マルチリモコンに電池を入れる

マルチリモコンに電池を入れてください。

(→ P.17「電池の入れ方」)

※右の画面が表示されます。



2 「曜日」を選択する

「∧」「∨」ボタンで、設定する「曜日」を選択し、「□」(決定ボタン)を押します。



3 「時間」を選択する

「∧」「∨」ボタンで、現在の「時間」を選択し、「□」(決定ボタン)を押します。

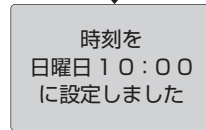
※時間は24時間表示です。



4 「分」を選択する

「∧」「∨」ボタンで、現在の「分」を選択し、「□」（決定ボタン）を押します。

※時刻設定が完了しました。引き続き、手順5を行ってください。

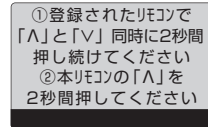
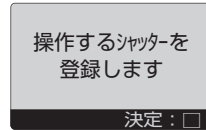


5 シャッターを登録する画面にする

「□」（決定ボタン）を押します。

※右の画面が表示されます。

※もう一度「□」（決定ボタン）を押すと画面が切り替わります。手順6に進んでください。



画面表示

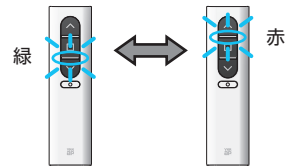
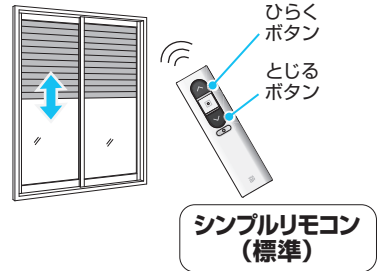
6 リモコン登録・削除モードにする

シンプルリモコン（標準）の「∧」（ひらくボタン）、「∨」（とじるボタン）を同時に長押し（約2秒）します。

※シャッターが小さく上下に動き、リモコン登録・削除モードになります。

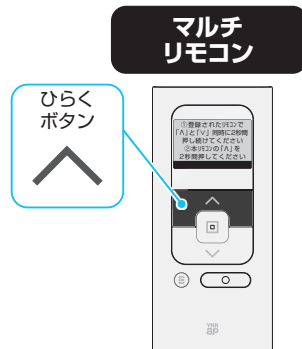
※リモコン登録・削除モードに入っている間は、シンプルリモコン（標準）の緑と赤のLEDが交互に点滅します。

※リモコン登録・削除モードの状態では、2分間操作がない場合、通常モードに戻ります。その際、シャッターが小さく上下に動きまわりますので、再度「∧」（ひらくボタン）、「∨」（とじるボタン）を同時に長押し（約2秒）して、リモコン登録・削除モードにしてください。



7 マルチリモコンにシャッターを登録する

マルチリモコンの「∧」（ひらくボタン）を長押し（約2秒）します。



※マルチリモコンにシャッター1が登録されました。

シャッター1に
登録しました

8 複数台のシャッターを登録する、または登録されているシャッターを削除する

「続けてシャッターを登録 / 削除する場合」(→ P.22) を参照してください。

続けてシャッターを登録／削除する場合

●用意するもの



シンプルリモコン
(標準)

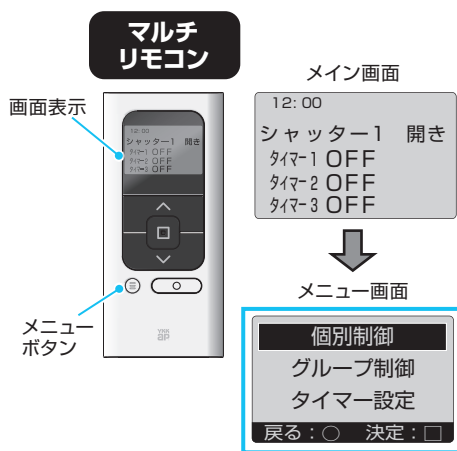


マルチリモコン
(オプション)

※ 続けて登録／削除するシャッターのリモコン

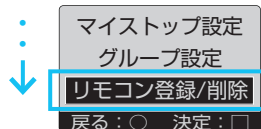
1 メニュー画面を開く

「三」(メニューボタン)を押し、メニュー画面を開きます。



2 「リモコン登録／削除」を選択する

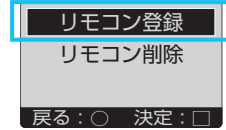
メニュー画面から「上」「下」ボタンで「リモコン登録／削除」を選択し、「□」(決定ボタン)を押します。



3 「リモコン登録」または「リモコン削除」を選択する

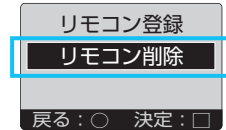
登録する場合

メニュー画面から「∧」「∨」ボタンで「リモコン登録」を選択し、「□」（決定ボタン）を押します。



削除する場合

メニュー画面から「∧」「∨」ボタンで「リモコン削除」を選択し、「□」（決定ボタン）を押します。



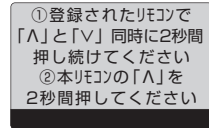
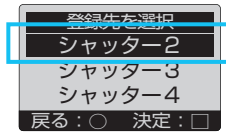
4 登録または削除するシャッターを選択する

登録する場合

「∧」「∨」ボタンで登録するシャッターを選択し、「□」（決定ボタン）を押します。

※例は「シャッター2」を選択する場合。

※右の画面が表示されます。手順5に進んでください。



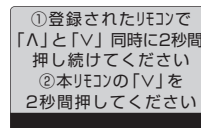
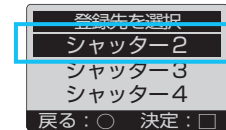
画面表示

削除する場合

「∧」「∨」ボタンで削除するシャッターを選択し、「□」（決定ボタン）を押します。

※例は「シャッター2」を選択する場合。

※右の画面が表示されます。手順5に進んでください。



画面表示

5 リモコン登録・削除モードにする

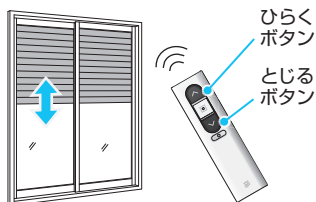
続けて登録するシャッター付属のシンプルリモコン（標準）の「∧」（ひらくボタン）、「∨」（とじるボタン）を同時に長押し（約2秒）します。

※シャッターが小さく上下に動くまで長押ししてください。

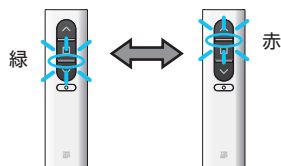
※シャッターが「リモコン登録・削除モード」になります。

※リモコン登録・削除モードに入っている間は、シンプルリモコン（標準）の緑と赤のLEDが交互に点滅します。

※リモコン登録・削除モードの状態で、2分間操作がない場合、通常モードに戻ります。その際、シャッターが小さく上下に動きますので、再度「∧」（ひらくボタン）、「∨」（とじるボタン）を同時に長押し（約2秒）して、リモコン登録・削除モードにしてください。



シンプルリモコン
（標準）



6 マルチリモコンにシャッターを登録または削除する

登録する場合

マルチリモコンの「∧」（ひらくボタン）を長押し（約2秒）します。

※マルチリモコンにシャッター2が登録されました。



シャッター2に登録しました

削除する場合

マルチリモコンの「∨」（とじるボタン）を長押し（約2秒）します。

※シャッターからマルチリモコンが削除されました。



シャッター2を削除しました

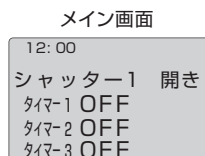


グループ設定（作成・編集・削除）

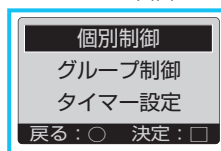
グループ設定をすることでグループに登録されたシャッターをまとめて操作することができます。

1 メニュー画面を開く

「三」（メニューボタン）を押し、メニュー画面を開きます。

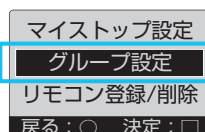


メニュー画面



2 「グループ設定」を選択する

メニュー画面から「∧」「∨」ボタンで「グループ設定」を選択し、「□」（決定ボタン）を押します。

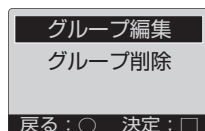
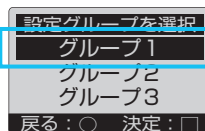


3 設定するグループを選択する

「∧」「∨」ボタンで設定するグループを選択し、「□」（決定ボタン）を押します。

※例は「グループ1」を選択する場合。

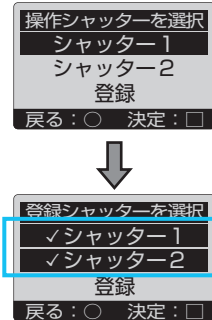
※ 設定済みのグループを選択した場合、グループ編集・削除画面に切り替わります。



4 登録するシャッターをすべて選択する

「∧」 「∨」 ボタンで登録するシャッターを選択し、「□」（決定ボタン）を押して、登録するすべてのシャッターに「✓」マークが付いたことを確認します。

※例は「シャッター1」と「シャッター2」を選択する場合。

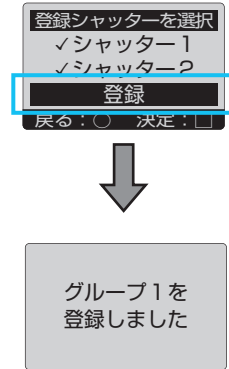


5 「登録」を選択する

「∨」 ボタンで「登録」を選択し、「□」（決定ボタン）を押します。

※例は「グループ1」に「シャッター1」と「シャッター2」を登録する場合。

※「グループ1」に「シャッター1」と「シャッター2」が登録されました。





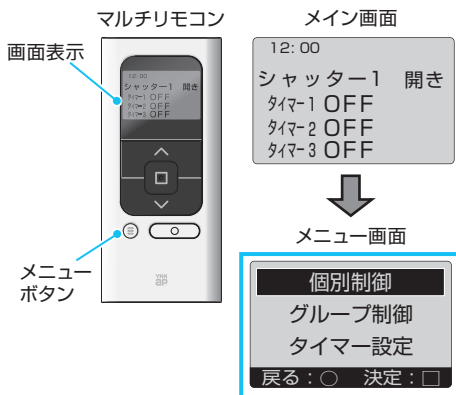
タイマー設定

タイマー設定をすることで、設定したパターンおよび時間にシャッターを自動で開閉することが可能となります。

1

メニュー画面を開く

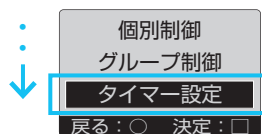
「三」（メニューボタン）を押し、メニュー画面を開きます。



2

「タイマー設定」を選択する

メニュー画面から「∧」「∨」ボタンで「タイマー設定」を選択し、「□」（決定ボタン）を押します。

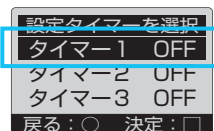


3

設定するタイマーを選択する

「∧」「∨」ボタンで設定するタイマーを選択し、「□」（決定ボタン）を押します。

※例は「タイマー1」を選択する場合。

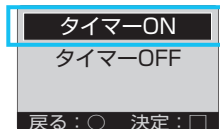


4

タイマーの「ON」「OFF」を切り替える

「∧」「∨」ボタンで「タイマー ON」または「タイマー OFF」を選択し、「□」（決定ボタン）を押します。

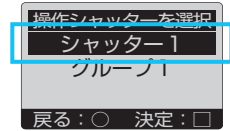
※「タイマーON」を選択する場合は、手順5へ進み設定を続けてください。



5 タイマー設定する「シャッター」または「グループ」を選択する

「∧」「∨」ボタンでタイマー設定する「シャッター」または「グループ」を選択し、「□」（決定ボタン）を押します。

※例は「シャッター1」を選択する場合。



6 タイマー設定するパターンを選択する

「∧」「∨」ボタンでタイマー設定するパターン（「休日」「毎日」「平日」）または曜日を選択し、「□」（決定ボタン）を押します。

※例は「毎日」を選択する場合。

※パターンの種類

休日…土曜日、日曜日

毎日…月曜日～日曜日

平日…月曜日～金曜日



7 タイマー設定する「時間」を選択する

「∧」「∨」ボタンでタイマー設定する「時間」を選択し、「□」（決定ボタン）を押します。

※例は「06」を選択する場合。

※時間は24時間表示です。



8 タイマー設定する「分」を選択する

「∧」「∨」ボタンでタイマー設定する「分」を選択し、「□」（決定ボタン）を押します。

※例は「00」を選択する場合。



9 設定した時間に行う動作を選択する

「△」「▽」ボタンでタイマー設定した時間に行う動作（「開き」「閉じ」「マイストップ」）を選択し、「□」（決定ボタン）を押します。

※例は「開き」を選択する場合。

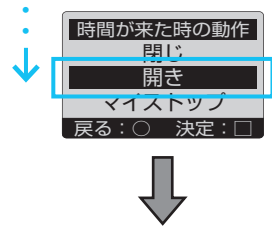
※タイマーが設定されました。

※例は「タイマー1」に「シャッター1」「開き」「毎日」「06:00」を設定する場合。

※タイマー設定後は設定を行った位置にリモコンを置いてください。

タイマー設定した時間にリモコンより電波が発信されます。

リモコンが電波の届かない位置にあると、シャッターと通信ができず、シャッターが動きません。

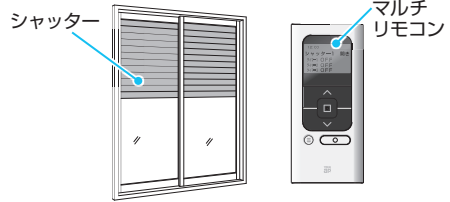


タイマー1
シャッター1の
開きタイマーを
毎日06:00
に設定しました



マイストップ機能の設定と使い方

マイストップ機能を設定することで、リモコンのワンタッチ操作でシャッターをお好みの位置へ移動できます。



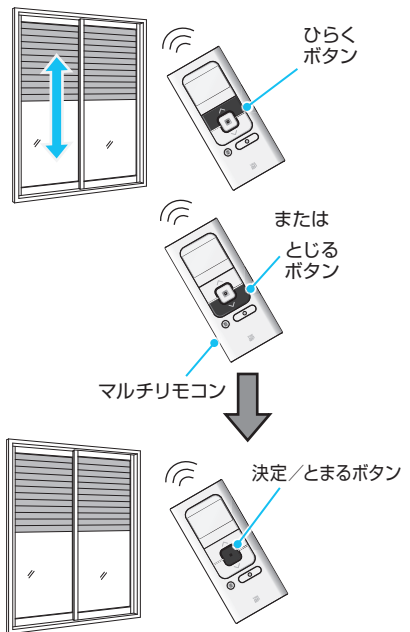
- マイストップ機能の登録ができるのはシャッター1台に対し、1か所のみです。マイストップ位置が登録されている状態で、新たな位置を登録すると、マイストップ位置が上書きされます。

■マイストップ機能の登録方法

1 シャッターをお好みの位置で停止させる

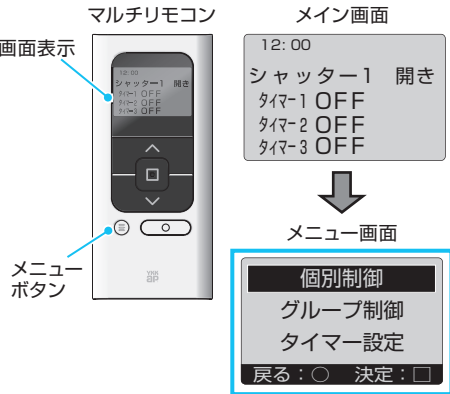
リモコンの「∧」（ひらくボタン）または「∨」（とじるボタン）を押し、お好みの位置で「□」（とまるボタン）を押します。

- 操作は、シャッターが停止している状態で行ってください。



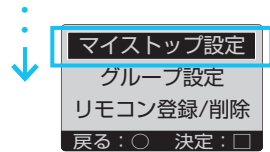
2 メニュー画面を開く

「三」（メニューボタン）を押し、画面表示メニュー画面を開きます。



3 「マイストップ設定」を選択する

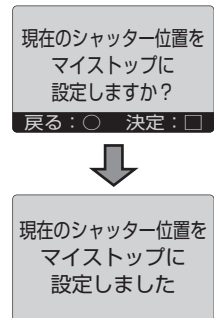
メニュー画面から「∧」「∨」ボタンで「マイストップ設定」を選択し、「□」（決定ボタン）を押します。



4 マイストップ設定を確認して登録する

確認画面が表示されるので、「□」（決定ボタン）を押します。

※シャッター位置が登録されました。

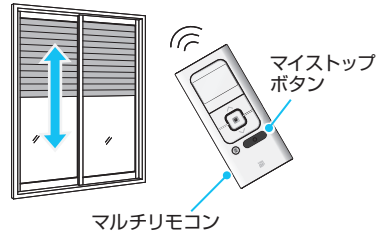


■マイストップ機能の使い方

1 リモコンの「O」(マイストップボタン) を押す

シャッターが停止している状態で、リモコンの「O」(マイストップボタン)を押します。

- ※設定した位置に移動し、自動的に停止します。
- ※停止位置は多少ばらつく場合があります。



■マイストップ機能の削除方法

1 リモコンの「○」（マイストップボタン）を押す

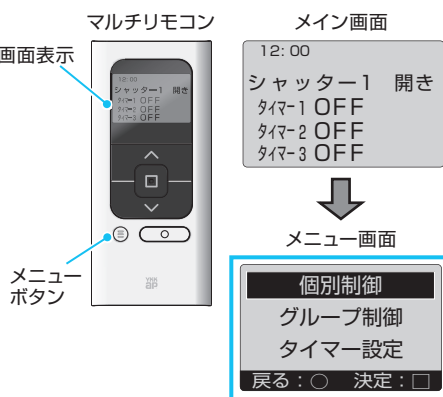
※設定した位置に移動し、自動的に停止します。

●操作は、シャッターが停止している状態で行ってください。



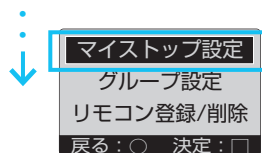
2 メニュー画面を開く

「三」（メニューボタン）を押し、画面表示メニュー画面を開きます。



3 「マイストップ設定」を選択する

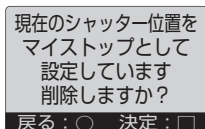
メニュー画面から「∧」「∨」ボタンで「マイストップ設定」を選択し、「□」（決定ボタン）を押します。



4 マイストップ設定の削除を確認して登録する

確認画面が表示されるので、「□」（決定ボタン）を押します。

※マイストップ設定が削除されました。



マイストップ設定を削除しました

困った時には

不具合が生じた場合、ご自身で調整等はせず、お取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理を依頼してください。

〈マルチリモコン（オプション）操作時〉

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
シャッターが作動しない。	開閉ボタンの押し方が弱い。	再度しっかりボタンを押してください。	
	リモコン操作が可能な範囲以外で操作している。	電波到達範囲内で操作してください。	
	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。	P.17
	電池の向きが間違っている。	正しい向きで電池を取り付けてください。	P.17
	登録されていないリモコンを使用している。	登録済みのリモコンを使用してください。	
下で正常に止まらない。	シャッターが位置を把握できていない。	一度、ひらくボタンを押して全開にしてください。	
戻るボタンを押すとシャッターが作動したり、意図しない位置で停止したりする。	マイストップ機能が設定されている。	マイストップ機能の削除・設定を行ってください。	

YKK ap	部品オンラインショップ Parts SHOP お問い合わせフォーム	
-------------------------	--	--

保守点検

保守点検項目

長期間、商品を使用していると、いろいろな不具合が発生します。

そのまま使い続けると、人身事故や家財の損害などの原因となるため、お掃除の際など、日常的に保守点検を行ってください。

下記は、点検していただきたい項目です。

- 商品にきしみ音、ガタつきはないか（ネジのゆるみなど）
- 部品が破損していないか
- ガイドレールに汚れがたまっていないか

※2階以上に設置された商品などご自分での点検が難しい場合や、商品購入後10年経過した場合、また不具合が発生した場合は、まずお取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室にご相談ください。

《マルチリモコン登録内容記録シート①》

登録内容の記録用に下の表をご活用ください。

シャッター No	シャッター設置場所	グループ	タイマー設定時刻	備考
記入例 1	リビング	1	開：毎日 7:00 閉：毎日 19:00	
記入例 2	子供部屋 1	2	開：月～金曜日 6:00 閉：月～金曜日 19:30	グループ2は2階の一斉操作
記入例 3	寝室	2、3	開：月～金曜日 6:00 閉：月～金曜日 19:30	グループ3は寝室の一斉操作

1			開 () :	
			閉 () :	
2			開 () :	
			閉 () :	
3			開 () :	
			閉 () :	
4			開 () :	
			閉 () :	
5			開 () :	
			閉 () :	
6			開 () :	
			閉 () :	
7			開 () :	
			閉 () :	
8			開 () :	
			閉 () :	
9			開 () :	
			閉 () :	
10			開 () :	
			閉 () :	
11			開 () :	
			閉 () :	
12			開 () :	
			閉 () :	

YKK
ap | **部品 オンラインショップ**
Parts SHOP
お問い合わせフォーム



 YKK AP株式会社

●表示内容は2023年7月現在のものです。

発行 / 2023年7月(2版)

Printed in Japan

No. | HHW11-154